

環境学習で児童イキイキ

トンボ池



日 時: ヤゴの捕獲 平成24年6月5日
 ヤゴの放流 平成24年6月6日
 場 所: 下羽栗小学校プール、トンボ池
 出席者: 下羽栗小学校6年生62名、トンボ池を守る会、笠松町役場、
 学識経験者等専門家、国土交通省木曾川上流河川事務所
 内 容:
 ・ヤゴの捕獲…プール掃除の時間帯にそこに生息するヤゴの捕獲を子供達が行った。
 ・ヤゴの放流…プールで捕獲したヤゴを子供達がトンボ池に放流し、トンボ池の歴史や環境改善対策の目的や対策状況、と結果、環境保全の大切さを説明した。
 報道関係: 毎日新聞社、中日新聞社、岐阜新聞社、岐阜放送より取材

★環境をみんなで守ろう!

地域と連携したモニタリング、環境保全のための勉強会を進めています。平成22、23、24年度にトンボ池から約800m離れた「下羽栗小学校」の児童と共にプールのヤゴ(シオカラ系、アキアカネ系、ヤンマ系)を捕獲トンボ池に放流する環境学習を行いました。
 次代を担う子供達がこの活動を通じトンボ池をより身近なものとし、環境により一層の関心を持っていただく事が大変重要なのではないのでしょうか?

最初は気持ち悪いと思ったけど今はカワイイ

岐阜県笠松町の木曾川北派川にある「トンボ池周辺」は近年環境(水質等)が悪化し過去に40種類近くいたトンボが29種類まで減少しました。

そこでトンボ池等の環境基盤の改善を図りつつ「トンボ池を守る会」や笠松町・国土交通省木曾川上流河川事務所が協働し学識経験者等専門家の指導のもと「トンボ池等湿地環境再生検討会」を開催しています。

ヤゴ捕獲の様子(6月5日)



トンボになるのがたのしみだね。

「くりちゃん」と名付けしたよ。大きく育てね。

ヤゴ放流の様子(6月6日)

